

地域に開き、ともに学ぶ

本学で県民大学校が開講

金沢学院大・短大

11月まで22講座

石川県立社会教育センターが主管する平成十五年の石川県民大学校能力開発コースとして、金沢学院大学と金沢学院短期大学で行うクリエイティブライフ講座「知的に潤うことのすすめ」は七月五日、二十六人の県民を迎えて開講式を行い、講義に入りました。

初回は学院大の石川温助教が「カミオカンドの挑戦 不可視の世界への挑戦」、学院短大の野村孝弘教授が「がんの分子生物学 不可視の世界への挑戦」と題して、講



県民を迎えて講義を行う石川助教

義を行いました。受講生らは熱心にメモを取りながら、真剣な表情で聞き入っていました。

クリエイティブライフ講座は十一月二十九日まで、全二十二回開かれま

す。途中からの受講も可能です。問い合わせ、申し込みは本学事務局（〇七六（二二九）八九四七）か、県社会教育センター（〇七

進学わくわくライブ2003金沢

学院大・短大を盛んにPR



高校生に説明する学院大のブース

リクルート社主催の「進学わくわくライブ2003金沢」は七月五日、石川

県産業展示館四号館で、金沢学院大学、金沢学院短期大学など北陸、中部、近畿

から二十五大学、十二短大、五十四専門学校が参加して開かれました。



高校生に説明する学院短大ブース

県産業展示館

会場には、各高校ごとに大型バスで高校生が訪れ、合計約三千人が、それぞれ質問をしたい大学や短大、専門学校ブースで話を聞いていました。

本学も大学と短大の二つのブースを設け、吉田貞介美術文化学部長代理ら十一人の先生方が、訪れた高校生に学部の内容や取得出来る資格などのほか、学生を支援する各種制度などを説明しました。

専門学校が広いブースを確保して、ヘアメイクやネイルアートなどの実演を行い、「遊び感覚」の女子高生の人気を集めていたのが目につきました。

発行・入試広報部

六（二二三）九五七二」まで。

JICA・ユネスコ
本学でフォーラム
小山内氏が講演

石川県ユネスコ協会青年部の「JICA・ユネスコ特別フォーラム」開催途上国での活動と若者たち」は七月五、六の両日、金沢学院大などで開かれ、学生や県民ら約百二十人がボランティア活動と国際交流のあり方や意義を

考えました。

本学講堂で行われたフォーラムの基調講演では、「三年B組 金八先生」の脚本家でもあり、「JHP・学校を作る会」代表を務める小山内美江子氏が「共に生きる21世紀」と題して、カンボジアでの学校建設活動を紹介しながら、ボランティアに参加した日本人の学生や若者の意識の変化、豊かさの真の意味、現地の人たちの触れ合いなどを話しました。

この後、同協会青年部や



基調講演する小山内氏

学校を作る会、県青年海外協力隊OB会のメンバーらが事例発表を行いました。六日は、県青少年総合研修センターでワークショップとディスカッションが行われました。